

ノイズ探知、低周波も

マイクロニクス
都産技研と計器

電気計測機器のマイク
ロニクス（東京都八王子
市）は、幅広い周波数帯
域の伝導性妨害ノイズを
測定できる磁界プローブ
（探針、写真）を開発、7
月から販売を始める。東
京都立産業技術研究セン
ター（産技研）と共同開
発した。別の専用機器を
使った従来の方法に比べ
簡単に測定できるのが特
徴で、自動車関連メーカ
ーなどの需要を見込む。
伝導性妨害ノイズは電
源や電子機器から発生
し、他の電子機器を誤動
作させる。電子機器など



を出荷する前に同ノイズ
が出ていないか測定する
必要がある。

同社の磁界プローブは
ノイズを表示する測定器
に接続し、先端を測定対
象の電源回路に触れさせ

て使う。回路から発生し
ているノイズ磁界を拾っ
て異常を探知する仕組み
だ。従来は測定対象の回
路に、測定器と疑似電源
回路網と呼ばれる専用機
器をつないでノイズその
ものを拾う仕組みだった
ため、測定の際に時間や
手間がかかっていた。

プローブのセンサー感
度を高める産技研の技術
を使うことで、従来より
低い周波数のノイズを拾
えるようにした。価格は
税抜きで15万5000円
で、年間200本の販売
を目指す。